

大船渡だより

祝！ベース開所3周年



↑大船渡だより第1号～第13号、ベースで撮影されたボランティアの方々とスタッフの集合写真も展示されました。



1月12日、カリタス大船渡ベース開所3周年記念イベントが開催されました。高松教区諏訪司教様、仙台教区平賀司教様をお招きして、御ミサとパーティーを催しました。

御ミサは、2名の司教様と3名の神父様による共同司式で執り行われ、今までの地域の方々への感謝・3年間大きなけがもなく歩んできたことへの感謝・これからも継続して活動を続けていく新たな気持ちを持って祈りをささげました。他のベースのスタッフや教会メンバーも多く駆けつけて下さいました。

パーティーは、御ミサに参加した方々と地域の方々も参加して下さいまして50名近くの人数でした。今までのボランティアさんの集合写真や大船渡だよりを展示し、京都教区の大塚司教様から届いたお花がベース内を華



やかに彩りました。パーティーの初めに、諏訪司教様からご挨拶を頂きました。その中で、司教様が一緒に活動した際に関わった一人の青年ボランティアのことを思い出して、大船渡ベースが地域の支援だけでなくボランティアに来た方々の学びの場にもなっていると話されていました。ベース長からは次年度以降の動きが発表されました。今まで通り被災者の支援をするとともに、その中でも地域のこども達・親子に対しての支援を強く進めていくことを発表されました。会は、14時まで開催され、食べ物を囲みながらゆっくりとお話することが出来ました。

大船渡ベースの活動はまだこれから進展していきます。今は3年経過して、ようやく地域に根付き始めたところです。これからも協力して下さい皆様方の力で支えられていきます。どうぞ大船渡ベースを宜しくお願いします。

災害公営住宅の建設が進んでいます。

平成23年3月11日に発生した東日本大震災により、大船渡市は沿岸部を中心に大きな被害を受けました。この類を見ない災害を乗り越え、市民が幸せを感じ誇りをもてる町として大船渡市が再生するためには、災害の経験と教訓を生かしながら、単なる復旧に止まらない、再び今回のような災害にあわないまちづくりを推進しなければなりません。今、被災地では資材や人件費が上昇し軟弱地盤の改良が必要な地域が有るなど建設費の増加が課題となっています。

今もなお多くの被災者が暮らす仮設住宅、仮住まい生活の長期化による心身への影響を懸念する声も有ります。

大船渡市では被災者の生活再建のため801戸（岩手県511戸・大船渡市290戸）の災害公営住宅の整備が進んでいます。



震災から3年10ヶ月...

ボランティア登録者数 男性484人、女性820人：合計1304人
12月16日～1月15日 ボランティア数 男性：2名、女性：13名

「マラソン大会が開催されました！」

1月12日午前、ベース開所3周年のミサが行われている大船渡教会の周辺において、時折小雪が舞う曇り空のもと、大船渡市新春恒例のマラソン大会が開催されました。

今年は岩手県内外から総勢2,500名を超える選手が参加し、復旧復興の進む大船渡路を、寒さを吹き飛ばして選手たちが力走しました。沿道には多くの市民らが駆け付け、快走を見せる選手たちに熱い声援を送っていました。ゴール後は、力を出し切った仲間たちと健闘を称えあう姿が見られ、市民に勇気と感動を与えました。



12月・1月

地域の変化 活動紹介

- 12月
- 20日：カリタスシネマ
- 21日：サンタが町にやってくる！
- 24日：大船渡教会 クリスマス
- 25日：ベースイベント クリスマス会
- 27日：活動終わり 28日～4日まで休み

- 1月
- 1日：三陸鉄道南リアス線 初日の出列車
- 5日：活動スタート
- 10日：カリタスシネマ
- 11日：3年10か月
- 12日：ベース開所3周年記念イベント
- 15日：大船渡アクションネットワーク会議

カリタス大船渡ベース 地ノ森いこいの家

電話・FAX：0192-47-4737 (9:00～18:00)
急用時：080-2440-5610

- 〒022-0002 岩手県大船渡市大船渡町字地ノ森43-2
- Eメール：ofunatobase@gmail.com
- ブログURL：http://ameblo.jp/ofunatobase/